

なりた ひろこ  
**成田 宏子**  
 青森県男女共同参画推進協議会会長  
 (青森県)

青森県男女共同参画推進協議会会長等として、県内各自治体への意識啓発、各団体や個人の活動の支援などを積極的に行い、県内における男女共同参画推進の牽引役として大きな役割を果たした。また、青森県男女共同参画審議会委員として、「新あおもり男女共同参画プラン21」策定のために尽力するなど、男女共同参画の推進に大きく貢献した。

はら ひろこ  
**原 ひろ子**  
 城西国際大学大学院客員教授  
 (東京都)

国内のみならず、アジアをはじめとする海外におけるNGO活動を積極的に展開し、人身売買撲滅に関する活動や、女性の人権保護に関する様々な活動を行うなど、本分野において大きな役割を果たした。また、総理府男女共同参画審議会委員や内閣府男女共同参画会議議員等として、男女共同参画社会基本法や政府の男女共同参画基本計画の策定及びその推進に大きく貢献した。

ひぐち けいこ  
**樋口 恵子**  
 特定非営利活動法人  
 高齢社会をよくする女性の会理事長  
 (東京都)

NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長として、男女共同参画の視点から、より望ましい高齢社会形成のための各種活動を積極的に展開するなど、男女共同参画の推進に貢献した。また、総理府男女共同参画審議会委員等として、男女共同参画社会基本法制定などに貢献したほか、内閣府男女共同参画会議各種専門調査会会長等を務め、各種提言等のとりまとめなどに多大な貢献をした。

ふくはら けいこ  
**福原 啓子**  
 特定非営利活動法人 かながわ  
 女のスペースみずら代表理事  
 (神奈川県)

NPO法人「かながわ女のスペースみずら」代表理事として、永年にわたり、ドメスティック・バイオレンスやセクハラなど、切実な問題に悩む多くの女性を支援し、その先進性で県内のみならず、全国的な活動をリードした。また、それらの活動における経験をもとに、対策の必要性や被害者等の支援に関する啓発活動を積極的に行うなど、男女共同参画の推進に寄与した。

ふじい あやこ  
**藤井 絢子**  
 滋賀県環境生活協同組合理事長  
 (滋賀県)

廃食油を汚染の少ない石鹼に加工する「リサイクルせっけん」活動モデルや、農村の休耕田等で菜の花を栽培し、採取した油を燃料として活用する「菜の花プロジェクト」を立ち上げるなど、環境保全や地域の活性化に貢献する活動モデルを構築し、全国的に普及させた。こうした、女性に関心が高い環境保全分野でのロールモデルとして男女共同参画の推進に貢献した。

みずかみ ゆきえ  
**水上 幸衛**  
 財団法人ふくい女性財団理事長  
 (福井県)

財団法人ふくい女性財団理事長として、女性の健康問題に取り組むなど、財団の新たな活動を積極的に展開した。また、福井県漁協女性部連合協議会会長等として、「海や川をきれいにする運動」の啓発事業を積極的に展開したほか、女性漁業士などの、漁業に従事する女性の育成に積極的に取り組むなど、県内水産業分野における男女共同参画の推進に大きく貢献した。

わだ ちえこ  
**和田 智恵子**  
 淡漁業協同組合女性部部长  
 (京都府)

淡漁業協同組合女性部部长として、地域特産品の加工品開発及び販売などに取り組み、地域漁村女性の経済的自立に大きく貢献したほか、京都府漁協女性部連合会会長等として漁村女性の意見を地域活性化の取組に反映させるなど、京都府の水産業分野における牽引役として、男女共同参画の推進に貢献した。また京都府初の女性漁業士に認定され、後進の育成に力を注いでいる。

## 女性のチャレンジ賞・支援賞・特別部門賞 表彰受賞者 (50音順・敬称略)

### ○女性のチャレンジ賞

<p>団体名・氏名・役職等</p> <p>特定非営利活動法人  <b>NPOカタリバ</b>          代表 今村 久美          (東京都)</p>	<p>受賞者概要</p> <p>高校時代のキャリア学習の機会として、大学生や専門学校生等が自らの経験を基に高校生と直接対話するキャリア教育授業「カタリ場」を実施している。また、法人向けにイベント運営や企業研修、人材育成プログラム等を提供しているほか、現場の教師、教育産業関係者などを中心とした勉強会や交流会等も行っている。</p>
---	---

<p>かんだまちじよせいのうぎょうきかい  <b>蒔田町女性農業機械          オペレーターグループ「グリーンズ」</b>          会長 西田 美恵子          (福岡県)</p>	<p>大型特殊免許等の資格を取得し専門的な知識を持つ農業女性のみによるグループで、高齢農業者などが管理できなくなった圃場や条件の悪い零細農地を中心とした農作業の受託、休耕田を利用した農作物の生産等を行っている。また、地域の小学校で生産から販売まで一貫した体験学習を行う食育活動にも積極的に取り組んでいる。</p>
---	--

<p>ますだ きょうこ  <b>増田 恭子</b>          富士宮駅前通り商店街          振興組合理事長          (静岡県)</p>	<p>「おかみさんの会」を結成し、商店街探訪マップの作成、「十六市」の定期開催等により商店街の活性化に寄与したほか、物産展では「富士宮焼きそば」を全国に広くPRし、「食」においても地域ブランドの確立に貢献した。このような活動が評価され、静岡県内女性初の商店街振興組合理事長をはじめ、様々な役職に就任している。</p>
---	--

みつはた ゆか  
**光畑 由佳**  
 モーハウス代表  
 (モネット有限会社代表取締役)  
 (茨城県)

外出時に着用でき、授乳時に肌が露出しない授乳服の製作・販売を始め、2001年に法人化した。会社では子連れ勤務を実現する等、子育て中の女性が育児と仕事を両立できる就労環境の整備に努めている。また、イベントの開催、講演等を通じて、よりよい出産・育児環境の整備や新たなライフスタイルの提案を行っている。

やまぐち えりこ  
**山口 絵理子**  
 株式会社マザーハウス  
 代表取締役  
 (埼玉県)

バン格拉デシュ人民共和国に単身で飛び込み、現地の素材であるジュートを生かしたバッグを、現地の工場で、現地雇用のスタッフにより製品化し、日本で販売することで、その国の人々が自立できる体制を構築することを目指して「株式会社マザーハウス」を設立。地球環境にも配慮したビジネスを通じた国際貢献として注目を集めている。

**レディース 100年の森  
 林業グループ**  
 代表 鷹嘴 充子  
 (北海道)

10人の女性が自ら山林所有者となり、北海道内初の女性林業グループとして発足。枝打ち等の作業を行いながら、自らの森を「実習林」とし、地場産カラマツを利用して建設したログハウスを交流・研修の場としている。また、森林ボランティアグループとの植樹、森林教室の開催など、地域環境づくりの活動も積極的に行っている。

### ○女性のチャレンジ支援賞

<p>団体名・氏名・役職等</p>	<p>受賞者概要</p>
-------------------	--------------

財団法人 厚生年金事業振興団  
**大阪厚生年金病院**  
 院長 清野 佳紀  
 (大阪府)

出産後、退職を余儀なくされることが多い女性医師等の問題にいち早く取り組み、働きやすい職場環境を整備している。有給の育児休業制度等を設け、正規職員のみならず臨時職員にも適用しているほか、院内保育所・病児保育室の設置、フレックスタイム制による残業・当直なしの勤務体制等、多岐にわたる支援を行っている。

### ○女性のチャレンジ賞特別部門賞 (安心して暮らせる地域づくり)

<p>団体名・氏名・役職等</p>	<p>受賞者概要</p>
-------------------	--------------

行きまっせ！消費者啓発  
**グループ「てくてく」**  
 代表 谷 京子  
 (兵庫県)

高齢者が悪質な訪問販売のターゲットになり、消費者被害に遭うケースが後を絶たないことから、被害を未然に防ぎ、消費生活の主体者としての自立支援を目指して、兵庫県川西市消費生活センターと協働で、高齢者等を対象とした出前講座を実施。講座は、演劇を取り入れ、高齢者にも分かりやすく楽しみながら学習できるように工夫している。

かめい しずこ  
**亀井 静子**  
 特定非営利活動法人 生ゴミリサイクル  
 亀さんの家理事長  
 (三重県)

自宅を「宅老所」として地域のお年寄りの憩いの場に開放。その後、お年寄りに生き甲斐を感じてもらいたいという思いから、生ゴミの堆肥化に挑戦し、2004年にNPO法人化した。さらに、堆肥を使っての有機野菜作りにも取り組み、販売した売上をお年寄りに還元するほか、お年寄りとともに地元の小学校で環境出前授業を行っている。

特定非営利活動法人  
**さんかくナビ**  
 理事長 貝原 己代子  
 (岡山県)

DV対策に取り組み、民間シェルターの運営、DV相談の実施、DV被害者及び同行児童等の支援活動、自助グループの運営、DV被害者の支援者の育成等、様々な活動を実施している。特に、早い時期からデートDV被害者支援と若者等を対象とした予防啓発活動に力を入れており、教育現場での講演活動等を行っている。

みかみ きみこ  
**三上 公子 (石木 公子)**  
 特定非営利活動法人  
 活き粋あさむし事務局長  
 (青森県)

保健師だった行政での経験を生かしながら、NPO法人の事務局長としてヘルシーコミュニティ形成に取り組んでいる。コミュニティレストラン「浅めし食堂」、地域子ども教室、高齢者・障害者世帯などへの弁当配達、遊休農地の活用、ヘルシーツアー等を手掛け、「健康」をキーワードに地域が求める活動を幅広く展開している。

よしむら うさぎ  
**吉村 憂希**  
 特定非営利活動法人  
 青少年育成審議会J S I理事長  
 (大阪府)

コンビニにたむろする子どもたちの相談にのったことがきっかけとなり、止まり木となる自立支援のフリースクール等を作り、2000年にはNPO法人を結成。子育て支援や子どもの自立支援、青少年健全育成、防犯や防災のための諸活動を展開することにより、心豊かで安全かつ安心できるまちづくりを担う、全世代にわたる「市民の自立」のための総合的支援を行っている。